

「建設現場のマネジメント」

●3 感想・意見

▼ 県_土木建築部

- ・ 業界の状況等を把握できた。
- ・ 地域貢献・三方良しについて理解できた。
- ・ 受発注者が共通認識をして一丸で取り組む必要がある。
- ・ 住民にわかりやすい言葉で示し、できるだけ早く成果品を住民へ提供する。
- ・ 情報共有の手段として、今の時代は SNS がマスコミより有効であることがわかった。
- ・ 対外的な PR も大切なことだと思いました。
- ・ 研修テーマである現場のマネジメントの具体的手法に加え、地域との関わり方、情報発信の仕方について学ぶことができ、有意義なものだった。
- ・ 仕事は人間関係が一番大事という点は非常に共感できました。
- ・ プロジェクトバッファという言葉は初耳。CCPM について、もう少し聞きたかった。
- ・ 建設現場では、業者との意思疎通が思っている以上に必要であると改めて知った。今後特に意識したい。
- ・ 工程管理について、とても参考になった。
- ・ 土木未来プランの周知状況について、実際の話が聞けて参考となった。
- ・ 業務で直面している課題、話題であったので、好機でした。大変役立ちました。自身の向上にもなりました。
- ・ 来年も建設現場のマネジメントについては研修をぜひ行っていただきたい。
- ・ 今回の講座は大変良い内容、テーマです。もっと多くの職員に受講してもらいたいと感じました。

▼ 県_農林水産部

- ・ 今回の研修は非常に参考になりました。
- ・ 公共事業を手段に地域を「創って」いきたい。
- ・ 今までは発信した情報が相手にうまく伝わっているかなど、考えたこともなかった。これからの公共事業には、そういう面が重要となっていくと思いました。
- ・ 公共事業の PR の大切さ、一人一人が PR する事の大切さを感じた。
- ・ 公共事業を行う際に大事なことは人づくりで、地域との共生が最も大切だということがわかった。
- ・ ODSC の別の事例(成果)を見てみたかった。
- ・ ただ工事を発注し、完成させるだけでなく、その各地域とのコミュニケーションを深く取ることを目標に仕事に取り組んでいきたい。
- ・ 地域住民目線にたった考えはとても参考になった。
- ・ 先生の言われたことは痛いほどわかるが、業務量、時間がなく満足にできていないのが実情である。
- ・ 工程管理の考え方、コミュニケーションのあり方等考えが変わった。

- ・ “物語”をつくるということ、目的を一致させるということ、クリティカルチェーンについて等、大変ためになった。建設業者は敵ではなく戦友である。

▼ 市町村

【回答なし】